

なかさと

かよく しこく わやかに もに揮く

学校だより 第17号



一関市立中里小学校

令和2年10月30日

学習発表会で力を発揮した子どもたち。発表会后、校外に飛び出しています。新型コロナウイルス感染症対応のため、例年とは形を変え、工夫しながら実施しています。

10/22 (木) ~ 23 (金)

修学旅行



10月に時期をずらし、目的地も花巻・盛岡方面に移して実施しました。盛岡で発症者の情報があり、少し心配しながら当日を迎えましたが、予定通りの行程で出かけてくることができました。

<1日目> 宮沢賢治記念館・宮沢賢治童話村～小岩井農場～盛岡アートホテル



宮沢賢治童話村

学習発表会で取り上げ、理解を深めた宮沢賢治について、さらに掘り下げることからスタート。宮沢賢治記念館では、賢治さんの一生だけでなく、地質学や文学、音楽、農業等、様々な面で力を発揮した賢治さんに関わる展示などを確かめながら、見学しました。童話村では、施設の見学以上に、童話村内の散策路「賢治の小路」を行き来するグループや小川で楽しむ子どもたちが多く、自然を愛した賢治さんが喜びそうな程、楽しそうに遊んでいました。

小岩井農場では、岩手山の全景を観ることはできませんでしたが、裾野を見ながら、思いっきり駆け回りました。ほんの一口のバターを取り出すために必死に頑張ったバター作り体験も、予想以上に張り切り、美味しそうにいただけていました。

アートホテルに到着すると、わんこちゃん(そばっち?)も出迎えてくれ、子どもたちはおしゃれな部屋やお料理に大喜び。一般のお客様に迷惑などかけないか心配しましたが、マナーを守って、上手に過ごし、翌日に備えてほとんどの子どもが早めに就寝できました。



バター作り体験

乳搾りのように、しぼります。

<2日目> 盛岡アートホテル～盛岡先人記念館・子ども科学館、岩山パークランド

2日目は、ホテルを出発し、盛岡先人記念館に向かいました。石川啄木や米内光政、新渡戸稲造の展示に食いつき、沢山メモを取る子、多くの岩手の偉人たちの名前に見とれる子等、しっかり学ぼうとする子どもたちでした。



岩山パークランド

子ども科学館では、プラネタリウムで今晚8時の星空から、宇宙のしくみに思いを馳せました。



先人記念館



子ども科学館

ペダルをこいで発電中!

最後にお楽しみのはら山パークランドです。なんとか小ぶりになったとはいえ…雨の中、沢山のアトラクションにチャレンジしていました。「雨にも負けず…」と口走りながら遊んでいた子がいたのは、言うまでもありません。

修学旅行の目標

右記のような修学旅行にしよう! と頑張る姿がたくさん見られました。この旅行を通して高めたい力として「時間力」「行動力」「判断力」掲げて出発しましたが、目標を意識しながら活動している様子は、さすが6年生でした。

修学旅行で高めた力を発揮して、6年生としてさらに素晴らしい活躍が期待できると思うと、とても楽しみです。

【学習】話をよく聞き、
しっかり学ぼう!

【生活】マナーやルールを守り、
考えながら行動しよう!

【交流】助け合い、
笑顔で思い出をつくろう!

10/27 (火)

照井堰見学 …4年…



照井堰のこと

よくわかりました！

平安の時代から、私たちの生活に欠かせない水を供給してきた堰について県の農政局や「水土里(みどり)ネットるい」の皆様にご協力いただいて学習しました。

初めに、紙芝居を見たり説明を聞いたりして、照井堰の歴史や働きについて学びました。

その後、バスで大め切頭首工まで行き、水門の開閉装置を見せていただいたり、堰を作った昔の人々の作業体験をしたりしました。もっこで大きな石を運んだり、くさびをハンマーで打って石を割ったりする作業を体験して、昔の人々が苦勞して堰を作ったことを実感することができました。



もっこ体験

おも～い！



隧道探検

昔の人が掘った所
ごっこつして…



開閉装置

線がいっぱい！

見学学習を通して、照井堰を作った昔の人々の苦勞だけでなく、現在も多くの人の手によって、守られていることを知りました。中里地域の農業にとって欠かせない大切な照井堰について理解を深めることができたよい学習となりました。

10/28 (水)

あいぽーと見学 …5年…



樋管 水量を調整します！

5年生は、総合的な学習の中で、防災について学びを深めています。「生きる」「そなえる」「かかわる」を柱に進めている復興学習との関わりも深い内容です。

この日、災害時の防災拠点となる北上川学習交流館あいぽーとで、大雨等でも大きな被害が起きないようにするための工夫について教えていただきました。



過去の災害は…

5年生の子どもたちの中には、あいぽーとを見学したことがある子どももありましたが、全員で見学に行くのは、初めてのことでした。

館長さんから、昭和22年カスリン台風及び23年アイオン台風の洪水による大水害のこと、その水害を契機に計画され、整備されてきた遊水地のこと等を資料やジオラマを示しながら教えていただきました。また、展望台では、360度に広がる眼下の景色をみながら、遊水地の実際の広がり確かめました。さらに、沢山のカメラで、各地域の河川の状況を確認し、水門の開閉等を管理し、洪水時の活動拠点となる管理センターの中を見せていただきました。



モニターがいっぱい…

樋管の説明をお聞きした時には、その管理のために地域の方々が携わっていることを教えていただきました。非常時には、80歳過ぎの方が24時間体制で眠らず番をすることもあるのだそうです。地域の方々の協力があって、遊水地やさまざまな施設が、一関市の人々の生活を守っていることを学びました。



いざという時、出動！

がんばりの紹介… 取組の成果に拍手！…

一関市歯科保健図画・ポスター・標語コンクール
〈標語の部〉

金賞 ＊＊＊＊＊ (5年) 銀賞 ＊＊＊＊＊ (3年)

〈図画・ポスターの部〉

銀賞 ＊＊＊＊＊ (2年) 銅賞 ＊＊＊＊＊ (2年) ＊＊＊＊＊ (2年)